

第 38 回 全国ミニバスケットボール大会

派遣審判 レポート I N千葉

審判部 西村茂樹

3月28日(水) 船橋アリーナ

第二試合 男子 徳島一茨城 主審 丹治(福島) 主任 中国ブロック長、安本

☆ ゲーム前のプレゲームカンファレンスでは、コート上の責任範囲とアイコンタクトをしっかりと取ること、プレーの受け渡しをしっかりとすること等を話した。
自分の課題としては、自信を持って笛を鳴らすこと、しっかりと動いて良いポジショニングで判定をする、プレーの全体を視野に入れる。

- ・ 高さ対スピードのゲーム展開に。両チーム共、出だしの悪い手を早めに処理した。その甲斐あって、スムーズな運びができた。
オールコートプレスの時の目の当て方、追いかける方、リードの時のヘルプ等、ゲーム前に話していたのでスムーズに行えたが
トレイルで追かける時にボール中心になりすぎ、振られるケースもあった。3秒オーバータイム、後ろからのリバウンドへの飛込みによる接触のファールの取りこぼしがあった。
全体的に相手レフリーと協力も出来、しっかりと走れ、思いっきり笛を鳴らせたゲームだった。

第五試合 女子 広島一青森 主審 伊東(栃木) 主任 千葉、川端

☆ プレゲームカンファレンスではプレーの受け渡し、リード・トレイルの責任範囲の確認、どの段階でファールを取り上げるか、触れ合いの責任をしっかりと判定することを話した。

- ・ 高さに対し身長の高いチームがどう守るか、どう攻めるかをゲーム前2人で話した。トラベリング、3秒オーバータイム等のバイオレーションもファール同様厳しく取り上げるよう心がけた。
身長の高い選手のトラベリングが目立ったので早めに処理。
1ゲーム通して同じ基準を保てた。

ダブルホイッスルになったときの、アイコンタクトが取れていなかった。
ダブルホイッスルも多くあり、互いの審判がボクシングインして
自分が見るところはしっかり動いて判定できた。

3月29日（木）千葉ポートアリーナ

第一試合 女子 新潟—愛知 副審 大木（山梨） 主任 田村（長野）

☆ ゲーム前の話し合いでは両審判の距離が近すぎず、離れすぎないように
話した。全国大会最後のレフリーだったので、前日までの課題
現在の自分の課題に取り組むようにして入った。
初の主審で緊張し硬さもありました。

両チームとも高さはなく、同じようなタイプのチーム。
前からもハーフからもどんどんプレッシャーをかけてきた。
早め早めに悪い手の使い方を処理。それでもどんどん手を出してきたので
相手審判と話し、悪い事は悪いんだから、ファールとして取り上げましょうと
話す。ゲーム開始早々、スローインの時のイリーガルスクリーンを両審判とも
解っていないながら鳴らせなかった所はゲームの始まりとして、ものすごく
違和感があり、その流れでゲームが進んでしまった。
プレスで来たときのヘルプ、視野の分担、両審判の距離、が思うように
出来なかった。

3P、4Pになっても悪い手、体の寄せ、は一向に減らず根気強く
吹き続けた。

3PにてT、Oのファールの数が合わないとのTOミスが起こりゲーム中断。
ファールの数をT、Oに合わせようとしたら3つとも違うスコア。
最終的にT、Oに合わせゲームスタートした。そう言うゲームコントロール
ベンチ、T、Oのコントロールをもっとしっかり出来るように
経験を積まなければいけないと反省した。

させていい現象か、早めに切ったほうが良いのかの判断をしっかり行えたら
何も難しいゲームでは無かった。子供にもベンチにもしっかり、はっきり
解りやすいジェスチャーとコールを心がけて行って行こうと反省した。
何よりT、Oミスの時の主審としてのゲームコントロール、正しい処理に
戸惑い、ゲーム時間が長引いたのは一番の反省点だった。

3月30日（金） 千葉ポートアリーナ

大会最終日 男女決勝 8ゲーム

全体的に2日間の反省を踏まえてゲーム観戦。

佐賀・九州代表として中島（長松）さんが決勝のゲームの主審に。

自分に足りないもの、他のレフリーのポジションの取り方、目の当て方
ジェスチャー等をゲームを通し研究。観察した。

決勝ということもあり、ベンチも選手も審判も良い雰囲気スタートした。

リードでの1歩の移動、広く退いたり寄ったり、工夫をされている審判が
いて勉強になりました。

最後の全体ミーティング。 講師 中武氏 中山氏

- ・ ラベリング・バイオレーションの判定基準があいまいだ。
- ・ 良いポジションを取り正しい判定ができているのか？
- ・ ディフェンスが接近して来た時の5秒オーバertimeのカウントが曖昧だ。
- ・ 基本に忠実に！！それを基に自分の課題に恐れず立ち向かい、取り組み
今より更に良い判定が出来るように心がける。
- ・ 頑張るだけじゃ駄目！！常に課題を見つけ実践。自分のレフリングを常に
見直す。思い返す。今より1歩前進するためには何が必要か？
何が足りないのか？

「自分で悩み・考え出した答えこそが本当の答えになる！！」

- ◎ 初めて全国大会派遣審判とし、参加させていただき、色んな他県審判との
交流、意見交換が出来た。自分の更なる課題・改善点も見つかり
自分にとって意味のある派遣審判でした。
何より全国のレフリーの1本でも多くレフリーしたい・決勝を吹きたい！！
という意欲・気持ちの強さ・取り組みに関心し今の自分に足りない部分
だと改めて感じた。

今回、全国ミニバスケットボール大会に派遣して頂き本当にありがとうございました。
沢山の勉強、交流、自分の審判として、指導者としての「バスケット観」
を磨けたと思います。また来年も参加出来るように、佐賀県で更に今以上のレベル
アップを心がけ審判に積極的に取り組んで行こうと思います。